



(前ページより)

なお2月初旬には札幌開成中  
高で高校生平和大使の活動をし  
ている生徒たちが被爆者を招い  
て学習しようとしています。

また暮れの12月21日、某メデ  
イアに就職が内定している九州  
大学の4年生Sくんが会館を訪  
問、就職したら被爆問題のドキュ  
メントをつくりたい、と一時間程  
話していききました。前途に大いな

### コープさっぽろの皆さんが 広島へ研修旅行

る希望をみる思いでした。

毎年ヒバクシャ会館に来て被  
爆者の話を聞き展示を見学し  
ているコープさっぽろの皆さん。  
昨年11月9日に組合員  
活動委員会の皆さんが来られ  
ました。そして広島へ研修旅行  
に。以下は委員長吉田千恵さん  
のレポートです。

「12月1日か  
ら3日まで、平和  
活動の継承と学習  
のためコープさ  
っぽろ組合員理事  
13名で広島平和  
研修に行つてまい  
りました。  
まずはリニュー  
アルした原爆資料  
館へ。  
被爆者が高齢化  
するなか、被爆の  
実相と核兵器の非  
人道性をよりわか  
りやすく伝え、現  
実にあった苦しみ  
に向き合えるよう  
にと実物展示が多

くなっていました。以前あった  
おどろおどろしい蠟人形はな  
かったものの、なんとも言えな  
いピリッとした緊張感が漂う  
館内、「生きるも地獄、死ぬも  
地獄」そんな言葉が浮かぶほど  
の直視しがたい現実言葉に  
失い、カメラも向けられなくな  
りました。

平和公園内にある原爆供養  
塔(土まんじゅう)には今も約  
7万体の身元不明の遺骨が眠  
っているそうです。一発の原子  
爆弾がその日、その時まで生き  
ていた人々の命や街を奪いま  
した。被爆者の切明千枝子さん  
の「名前も住所もあるのに14万  
人として葬られ…」の言葉が重  
く心に残りました。

「子どもの頃、遠足の行き先  
が原爆資料館とわかると、気持  
ちが重くなった。こうしてずつ  
と背負っていくんだと子ども  
ながらに思った」とお話してく  
ださったのは生協ひろしまの  
組合員理事さん。遠足は楽しい  
ものと思っていた私には衝撃  
的な話でしたが、子どもの頃か  
ら自分の目で観て、感じるこ  
とは何よりの学びであると思  
いました。

これまで教科書や報道など  
で知っているつもりでいた「ヒ  
ロシマ」の知識はほんの一部で  
あったこと、戦争は終わっても  
今も残るさまざまな悲劇は77  
年経った今も続いているとい  
う事をあらゆる面で感じる3  
日間でした。

「安らかに眠って下さい  
過ちは繰返しませぬから」と慰  
霊碑に刻まれていました。  
絶対に繰返してはいけな  
い!そのためにも私たちに  
出る事はまだまだある。まずは  
今回の研修で得たことを伝え  
る事から始めよう!と心に誓  
った私たちです。

【備考】  
研修の目的…組合員理事の平和  
活動の継承と学習、生協  
ひろしまとの平和の取組み  
について学ぶ  
背 景…コロナ禍により、  
この3年平和スタディツアー  
に道内の中高生を被爆  
地・ヒロシマ、ナガサキに派  
遣出来ていない。派遣するに  
あたつての学校訪問やツア  
ー引率、平和活動の中心とな  
る組合員理事の約半数が入  
れ替わっており、スタディツ

アーや平和セミナーへの参  
加経験がない方が多くなつ  
ている。今後の平和活動の継  
承のためにも現地の見学と  
学習の必要性がある

期 間…2022年12月  
1日(木)～3日(土)  
参 加 者…組合員理事 13名  
(オンライン参加1名)

職員 2名

主な見学先…

1. 生協ひろしま 西風新都  
店・子どもコープふらぎ
2. 原爆資料館、平和公園碑め  
ぐり、本川小学校平和資料館
3. 生協ひろしま 組合員理  
事 平和交流



2019年10月 広島ピースツアー  
恵庭の背戸盛治さん撮影